

○府中市子ども家庭支援センターに関わる事務事業点検の結果について

年度	事務事業名	点検での主な意見	市としての対応
平成23年度	育児支援家庭訪問事業	○それなりに効果を上げていると思われる。 ○当分の間は現行での対応。	○平成25年度より、学生訪問員による訪問を実施し、事業の継続実施を図っている。
	子ども家庭サービス事業 (トワイライトステイ事業)	○受付方法の改善を ○利用者負担を適正化すべき	○平成24年度より2施設への二重登録を可能にしたほか、平成25年度よりインターネットや携帯電話での予約を可能にするなどの対応を行った。 ○平成25年度より、利用時間に応じた料金制を導入するなど、利用者負担の適正化を行った。
平成24年度	子ども家庭支援センター管理運営事業	○民間活用をさらに進めるべき ○機能の重複が見られるので、整理が必要と考える。	○民間活力の更なる活用も含め、効果的な事業のあり方を検討していく。 ○子ども子育て支援新制度の進捗状況等を踏まえ、総合的に検討する。
平成25年度	ファミリー・サポート・センター事業	○もっと提供会員を増やしたり、依頼会員の潜在的な需要を掘り起こしたりという努力が必要 ○NPO法人等の別の事業主体の活用を検討すべき。	○これまでの事業のPR方法に加え、メール配信サービスの活用や、ポスター掲示場所の増加等を行っている。 ○事業のより良い方向性のため、NPO法人も含めた他団体の活用・参入等を検討する。